

山梨県医療審議会 会議録

1 日 時 令和8年3月12日(木)午後5時00分～午後6時00分

2 場 所 ベルクラシック甲府 2階 ヴィクトリア

3 出席委員(17人)敬称略

・会 長 鈴木 昌則

・委 員(五十音順)

石井 啓子	井上 泰輔	遠藤 みどり	金丸 一元	小林 正洋
佐藤 吉沖	高原 仁	高村 里子	内藤 久夫	中澤 良英
那須 美幹	七沢 久子	西尾 敏己	福田 六花	堀内 敏光
松澤 仁				

・事務局

福祉保健部 部長 植村 武彦

福祉保健部 医務課長 清水 康邦 他

・欠席委員(9人)敬称略

安藤 大輔、井上 克枝、泉宗 美恵、川崎 洋介、木内 博之、
清水 厚博、長谷川 達郎、望月 幹也、吉田 英二

4 傍聴者等の数

報道関係者 3人

5 次 第

1 開会

2 福祉保健部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

(1) 病床機能再編支援事業給付金の支給について(公開)

5 報告

(1) 医療法人の設立認可等の状況について(公開)

(2) 新たな地域医療構想の策定について(公開)

(3) 山梨県地域保健医療計画の中間見直しについて(公開)

6 概要

(1) 議事 病床機能再編支援事業給付金の支給について（公開）

資料1に基づき、事務局から説明が行われた。

○議長

事務局の説明に対し、質問等ありますか。

○佐藤委員

地域医療構想で病床数を議論する際、介護医療院のベッドは病床としてカウントされるか。それとも介護施設として扱われ、医療の病床には含まれないか。

○事務局（当日の回答から修正）

介護医療院のベッドは地域医療構想上の病床数には含まれないものの、医療機関と同様の施設基準や人員配置が義務づけられており、実際には医療を提供している。そのため、提供しているサービス内容は医療機関とほぼ同等と考えることができる。

○佐藤委員

介護医療院がベッドを減らす場合、当該給付金の対象となるか。

○事務局

介護医療院は介護保険施設であるため、当該給付金の対象とはならない。

(1) 報告 医療法人の設立認可等の状況について（公開）

資料2に基づき、事務局から説明が行われた。

○議長

事務局の説明に対し、質問等ありますか。

（質問等なし）

(2) 報告 新たな地域医療構想の策定について（公開）

資料3に基づき、事務局から説明が行われた。

○議長

事務局の説明に対し、質問等ありますか。

○井上委員

新たな医療構想では、現在4つある2次医療圏（構想区域）を減らす方向か。

○事務局

減らすことも含め、来年度協議していきたいと考えている。

○井上委員

救急や在宅医療は、医師会単位など、実際にはより細かい単位で運用されている。こうした実態のデータ（医師数・患者数・住民数など）が十分共有されていないため、参考値として示してもらえると、地域の不足状況や今後のまとめ方が明確になると思う。

○事務局

区域の統合は選択肢の一つだが、在宅医療のように市町村単位で区域設定した方が実態に合う場合もある。テーマに応じて区域の大きさを柔軟に決められるよう、検討していきたい。

補足として、地域医療構想で用いる「構想区域」と、先生が言及された「2次医療圏」は別の概念であるため、この場では2次医療圏そのものをどうするかは議論の対象としていない。ここでは両者を区別して捉えていただきたい。

（3）報告 山梨県地域保健医療計画の中間見直しについて（公開）

資料4に基づき、事務局から説明が行われた。

○議長

事務局の説明に対し、質問等ありますか。

（質問等なし）

以上をもちまして議事を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

以 上